

J602 について

Masato Shimura
JCD02773@nifty.ne.jp

2008 年 4 月 10 日

目次

J602 が出ている。

新機能 J602 の新機能

J602 はレジストリを切ってしまったので USB や CDROM から起動できる。J602 のフォルダを全部 COPY すればよい。

インストール HDD では/Documents and settings/(my-pc)/j602/ に入る。user file は HDD の/Documents and settings/(my-pc)/j602-user/ に来る。user 類は任意の箇所に移動できる

モビリティ USB や CD-ROM 上の J から起動できる。OS(LINUX) を入れた USB に J602 を入れておけば、宿借り人生も可能。

Package Manager RUN の中にある。アドオンのパッケージのインストールが簡単にできる

DLL shared Library call (DLL) が強化された。詳細はリリースノート、LAB の DLL Callback

新しい関数 M. Memo のみ (M. の強力な機能は西川のレポートで)

tree view デモに tree view がある

便利な機能 (1) J602 で強化された機能

p. 多項式の解を得られる次数が 30 次から 60 次程度に上がっている (中野会員)

o. 円関数の指定指数が強化されている

NaN 0 や無限大の演算で NaN (Not a Number) 表示になっている。次回サポートでもっと厳密になる様だ。

便利な機能 (2) J6 で強化された機能

漢字 J601 から *Form, Grid* でユニコードに対応したので日本語が使える。Windows では WINXP が必要。

動詞や名詞には未対応。^{*1}

乱数 Mersenne twister 採用

*1 WIN2000 ではユニコードの漢字はでない

注意事項

x. y. x. y. と x y の併用は J601 で最終的には可能となった。しかし、m. n. u. v. と m n u v に関しては怪しい。

J602a では x.y. は通っていない。

J504 は捨てずに動作確認用に残しておくことを薦める。

read only 読み込んだスクリプトファイルには read only がかかる。EDIT で readonly のチェックを外す

dir ユーザーファイルは full pass が必要。

```
dir_class='c:\documents and settings\m.shimura.a\j602-user\classes\'
```

```
require dir_class,'calculus\statistics\statistics\reg_simple.ijs'
```

システム系は~を入れる。

```
require '~system/packages/math/svd.ijs'
```

gl2 gl2 の仕様が大きく変わっている。(西川のレポート参照) 座標値の起点が左下から左上に変わり、表示関数も glshow” から glpaint になった。